

実験地は、どんなんとこ？こんなとこ！

～桂川河川敷実験地・現地レポート～

4月から草地生態系研究会が草地復元に取り組むのは、どんなんとこかな？と、いう訳で早速下見に行ってきました。阪急西山天王山駅という真新しい駅前から京阪バスで京阪淀行きに乗りバスに揺られること10分程で大下津バス停につきます。目の前の桂川の堤防を下ること、これも10分足らずで、目的の桂川・実験地につきます。(左手下の枯れ野の部分です。)



←河川敷の中へ入ってみるとこんな感じ。畠さんのお話によると、外来種の影響もあって、オギが生長不良だそうです。

ここを、20~30m角の実験区を3つほど作り、草刈りやら外来種除去の管理手法を変えて、オギの回復を図ります。

4月は第1回目として、その草刈りです。一番人手がかかるときです。まさしく「猫の手」にも呼び掛けてください。参加希望の方・お問い合わせなどは金谷まで

Email : kkanaya@sutv.zaq.ne.jp

なお、この実験は、2年計画です、保全協会の「特定自然保護推進資金事業」の認定を受けています。

金谷 薫